2023 lecture series

255th IBB Seminar

ヌクレオシドの生体内モノリン酸化代謝に着目したアデノウイルス感染症治療薬の創製

講師：**紺野　奇重 助教**
国際医療福祉大学薬学部薬学科
医薬品化学分野

日時：2023 年 9 月 16 日(土)15:30～16:30

会場：東京医科歯科大学　生体材料工学研究所
第二会議室 22 号館（1 階）

Abstract:ウイルス感染症治療薬の中で、核酸アナログはウイルス DNA/ RNA ポリメラーゼ阻害薬として重要な位置を占めている。核酸アナログが抗ウイルス活性を示すためには生体内でトリリン酸化の代謝を受ける必要があるが、化学修飾された核酸アナログは 1 段階目であるモノリン酸化の代謝を受けにくく、抗ウイルス活性を示さないことがある。これらを解決するため、我々はアデノウイルス感染症を標的とし、モノリン酸化を促進させる細胞を用いたスクリーニング系の確立と、スクリーニング結果より得られたリード化合物を中心とした化合物合成を行っている。本講演では、これらの研究について紹介する。

お問い合せ：生体材料工学研究所
メディシナルケミストリー分野
亀井(内線 8036)、玉村

Institute of Biomaterials and Bioengineering